

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

- | | | | |
|--|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 令和6年度事業報告及び収支決算 | ① | <input type="checkbox"/> みんなの広場 | ⑤ |
| <input type="checkbox"/> 県身連職員紹介 新入職員紹介 | ② | <input type="checkbox"/> さんぽみち | ⑤ |
| <input type="checkbox"/> 第70回日本身体障害者福祉大会かながわ大会報告 | ② | <input type="checkbox"/> 私とスポーツ | ⑥ |
| <input type="checkbox"/> 市町村のページ | ③ | <input type="checkbox"/> 県身連事業予定（7月～10月） | ⑥ |
| <input type="checkbox"/> 県身連 情報提供 | ④ | <input type="checkbox"/> 編集室から | ⑥ |

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
会長 内藤則義
〒221-0825
横浜市神奈川区反町3-17-2
電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860
編集 「身障かながわ」編集委員会
編集委員長 遠藤伸一
印刷 株式会社あんざい

令和6年度の各事業の実施にあたりましては、新型コロナウイルス等感染症拡大防止に努めながら、各地域団体との緊密な連携を図るとともに、県・市町村など関係機関の協力を得ながら着実な執行に努めました。

団体の自主事業としては、身体障害者ボウリング大会、歩行訓練事業を開催し、関東甲信越静プロツク協議会代表者会議（群馬県・川崎市）への参加、日身連と連携して情報収集や要望活動を行いました。

県補助事業については、身体障害者福祉大会を開催し、安心して生活できる福祉社会の実現に向けて、身体障害者相互の連携を深めました。

令和6年度 事業報告並びに収支決算

令和6年度神奈川県身体障害者連合会事業決算 (単位:円)

No	事業科目	決算額	予算との増減
1	管理費	241,327	△178,673
2	人件費	536,524	△13,476
3	会議費	202,820	52,820
4	負担金	185,000	0
5	雑費	43,075	△16,925
6	管理諸費	473,000	23,000
7	地域団体組織強化費	18,260	△1,740
8	広報活動費	1,173,034	43,034
9	身体障害者福祉推進活動費	3,988	△16,012
10	部会活動費	600,000	0
11	日身連大会参加費	75,970	△84,030
12	相談事業費	10,000	△20,000
13	体育振興費	267,398	57,398
14	福祉大会費	1,156,258	1,258
15	社会参加推進センター事業運営費	12,885,000	0
16	神奈川県障害者スポーツ振興事業費	62,310,000	0
17	音声機能障害者发声訓練事業費	1,578,000	0
18	県障害者スポーツ大会開催費	2,493,000	0
19	全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣費	10,560,000	0
合計		94,812,654	△153,346

参加推進センター事業は、身体障害者・知的障害者・精障障害者の自立と社会参加に資する事業の拡充・推進に努めるとともに、理解と認識を高めるための啓発を行いました。スポーツ振興事業においては、また、当財団の貴重な財源確保を図るために引き続き効率的な運営に努めました。

全国大会の予選会を市町村・関係

団体等の協力を得て開催し、佐賀県で開催された第二十三回全国障

害者スポーツ大会に、神奈川県並びに相模原市選手団を派遣しました。

また、当財団の貴重な財源確保を図るために引き続き効率的な運営に努めました。

また、当財団の貴重な財源確保を図るために引き続き効率的な運営に努めました。

また、当財団の貴重な財源確保を図るために引き続き効率的な運営に努めました。

県身連職員紹介

◆事務局次長 小谷 真人

〈主な担当〉

福祉大会・推進センター

◆主事 杉山 潤

〈主な担当〉

全国・県障害者スポーツ大会

◆主事 松岡 峻平

〈主な担当〉

普及啓発・理解促進部会

◆推進協議会

障害者文化・芸術祭

発声機能訓練事業

県身連新入職員紹介

◆常勤職員 新倉 美南

〈主な担当〉

肢体部会

ジパング俱楽部

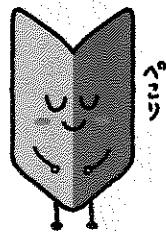
新入職員あいさつ

新倉 にいくら
美南 みなん

皆様、はじめまして。この度、神奈川県身体障害者連合会に入職いたしました、新倉美南と申します。

中学時代には、陸上をしており、高校時代には、サッカー部のマネージャーをしておりました。その中でスポーツの楽しさや、人を支える事の素晴らしさを感じてきました。この経験を活かし、皆様のお力になれるよう努めて参ります。

至らない点もあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします



第70回

日本身体障害者福祉大会 かながわ大会の報告

令和七年六月十一日(水)十二

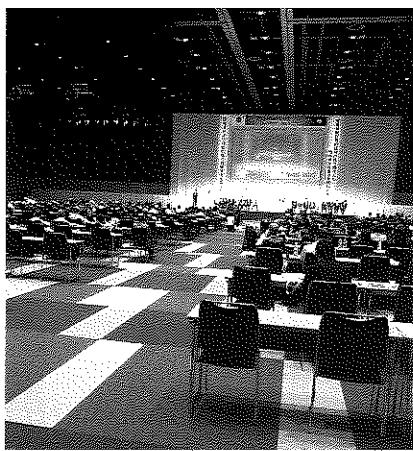
日(木)に、パシフィコ横浜会

議センターとノースに於いて、第

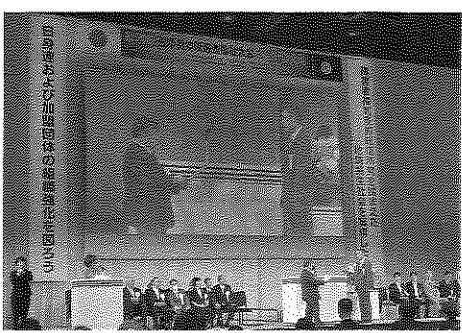
70回日本身体障害者福祉大会かな

がわ大会が開催されました。

十一日(水)は、日身連評議員会、意見交換会、懇親会が開催され、翌十二日(木)に福祉大会が開催されました。



祝辞を頂戴しました。神奈川県社会福祉協議会会长をはじめ、来賓の紹介を行い大会宣言、大会決議を朗読し第一部が終了。



大会は、主催者を代表して、日本身体障害者団体連合会会長、県身連会長のあいさつ及び神奈川県知事、横浜市長、川崎市長から歓迎のことばを頂き、日身連会長表彰50名の方が授章され、受賞者あいさつは神奈川県の相原貞雄様が行いました。その後、厚生労働大臣及び前文部科学大臣盛山様から

新型コロナウィルス感染症や能登半島地震の影響をうけ、六年ぶりの対面での開催となりましたが、全国から多くの方が一堂に会し、各地域の状況や様子などの意見・情報交換が行われていました。この大会が、今後の活動の活性化にむけた、実効性のある有意義な機会となつたと感じました。

海老名の散歩みち

海老名市身体障害者伸生会

今福 秀雄

横須賀市肢体障害者協会

鈴木 英雄

現状報告

最古の神社です。奈良・平安の昔に鎮座し、現在に至っています。

海老名氏靈堂があります。「吾妻鑑」や「曾我物語」にも登場する

有名な武将で、後に海老名氏、本間氏、国分氏に分家します。平安

時代の末期に進出していたようです。海老名源八季貞は、保元の乱

で奮戦し、「曾我物語」などにも出てくる有名な武将です。

また、二キロほどの所には、中新田の今福薬医門があります。

斐武田氏の家臣でもあつた今福氏が祖先と言われ、江戸時代には、

名主も務めた旧家です。嘉永六年

一八五三年に建築され、今ものこ

とされています。

今福家は、戦国時代に活躍した甲

斐武田氏の家臣でもあつた今福氏

が祖先と言われ、江戸時代には、

名主も務めた旧家です。嘉永六年

一八五三年に建築され、今ものこ

とされています。

以上、海老名市一部の散歩みちを紹介してみたいと思

います。市役所から西に二

キロ行つたところの相模川

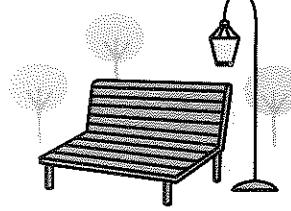
沿いに、海老名市上郷の有

鹿神社があります。神奈川

県の中心で太古より「お

有鹿様」と呼ばれています。

有鹿神社は相模の国で



市町村のページ

人口14万人を越えて、ますます住みやすい街、海老名です。海老名市では、いろいろな取組みをしています。海老名市に在住する障害児者のより良い地域生活を支援するために、関係機関及び団体のネットワークを形成し、福祉サービスや社会資源の利用等を総合的かつ継続的に調整・推進することとしています。また、相談支援等の体制整備を図ることにより、障害児者及びその家族の生活の安定及び質の向上を図っています。

ここで、海老名市の散歩みちを紹介してみたいと思います。市役所から西に二キロ行つたところの相模川沿いに、海老名市上郷の有鹿神社があります。神奈川県の中心で太古より「お有鹿様」と呼ばれています。有鹿神社は相模の国で

また、横須賀市には障害者団体連絡協議会があります。肢体、聴覚、視覚障害はもとより、精神障害、障害者スポーツ団体、自閉症児者、障害児者父母の会等、12団体で構成されていて、毎月の例会、研修会（昨年度は、京浜急行の安全対策ほか）、懇親会等を行っています。

また、社会福祉協議会の団体部会として、障害者団体、老人クラブ、地域作業所、母子福祉団体、ボランティア団体等で構成されています。他団体の現状や課題を共有し、協力して、それぞれの活動に資することを目的としています。

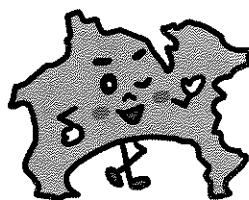
余談になりますが、当協会の事務所がある総合福祉会館の近くには、横須賀港（海上自衛隊、米海軍基地）を見渡せるベルニーニ公園があり、そこに小栗上野之介の胸像があります。幕末、横須賀港の建設に尽力した上野之介を主人公にした「逆賊の幕臣」が、再来年（令和9年）のNHK大河ドラマに登場する予定です。

毎年六月第一日曜日に開催される、横須賀市の福祉のお祭り「やさしさ広がれ！ふれあいフェスティバル」にも、毎年フライングディスク体験コーナー等に参加してきましたが、今年は不参加です。

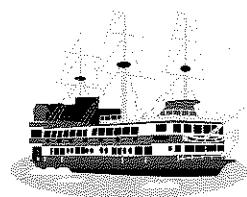
協会の最も楽しみな行事は、歩行訓練を兼ねたバス旅行です。今年は多摩川方面の散策を予定しています。その他、会員が楽しむ「お楽しみ会」は、「皆で歌おう」的なものを予定しています。あとは、県身連事業への参加ですが、参加する現地集合場所までの「足」の確保が難しいのが現状です。

乞うご期待！

～県身連肢体部・野外活動のご案内～



神奈川再発見！ なつかしの箱根遠足



◆期日 令和7年11月11日(火)

◆コース

- 各乗車地【8:15予定】 ⇒ 最寄IC ⇒ 圏央道・東名高速 ⇒ 御殿場IC
 ⇒ 箱根ポーラ美術館（見学）【10:00～11:30】
 ⇒ 山のホテル（ビーフシチューランチ）【12:00～13:15】
 ⇒ 箱根町港 箱根海賊船乗船【13:50～14:25】 ⇒ 桃源台港【14:45】
 ⇒ 大涌谷（見学・買物）【15:00～16:00】
 ⇒ 箱根新道・小田原厚木道路 ⇒ 最寄IC ⇒ 各地解散【17:30予定】

◆旅行代金 ￥14,500

- (注) 参加申込者が35名に満たない場合は中止となります。
- 費用に含まれるもの・リフトバス代、有料道路代、昼食代、見学代、旅行傷害保険。
- バスの配車ルート及び時間は、申込締切り後に各団体当日責任者様へご連絡します。
- 当日は障害者手帳、雨具を必ず持参してください。

★ 観光施設

箱根ポーラ美術館

自然とアートが調和した建物が特徴です。印象派の巨匠であるモネやルノワールなど、国内外の名作を見ることが出来ます。

大涌谷

火山が作り出した独特の景色を楽しめるだけではなく、散策やご当地グルメの黒たまごが味わえる、箱根でも有数の観光スポットです。

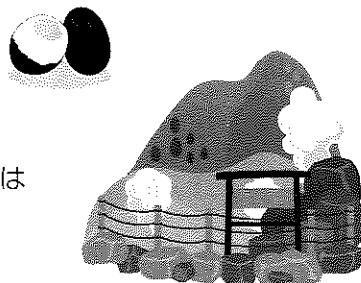
◆申込方法

各団体に参加者を募り、参加申込書に記入の上、締切日までに県身連事務局までお申し込み下さい。

※申込書は各市町村団体長宛にお送りしますので、参加を希望される方は所属されている身障団体へお問い合わせ下さい。

- 参加申込締切………令和7年10月3日(金)
- 参加費入金締切………令和7年10月10日(金)

※申込締切後は、規定のキャンセル料が発生します。



身障かながわ

みんなの広場

ともに歩む笑顔の活動

大井町身体障害者福祉協会
清水 亞樹視覚障害者教育の先駆け
秋山博の功績座間市障害者団体連合会
新井 修身

さんばみち

同市民グループは、地域の歴史を掘り起こす活動の中で秋山の存在を知り、平塚盲学校の卒業生らが當む秋山をしのぶ墓前祭に20年ほど前から参加してきました。近年は墓前祭に合わせて、秋山についての資料展を企画するなどして発イベントなどを開催しております。

大井町身体障害者福祉協会は、会員相互の親睦と社会参加の促進を図るとともに、障がい者福祉向上の推進を図ることを目的に活動しております。

現在は、肢体、聴覚、視覚障がいを含む会員15名ととても少ない人数で活動をしております。親睦として、毎年バス研修旅行を実施しており、昨年は山梨県方面へ行

き、ぶどう狩りを中心に行なわれ、計画案に対しても修正なども求めました。今後は更に、私たちが暮らしやすく、自立や社会参加できるよう、行政に対しても要望活動なども積極的に行っていきたいと考えております。

本会はしばらく県身連を休会していましたが、今年度から再開させておりました。お会いすることを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願いいたします。

秋山は同市岡崎の生まれで、13歳の時に天然痘にかかるて失明。江ノ島方面で、三崎港を散策し、昼食はマグロ料理、お土産もうらりマルシェでマグロを購入しました。このバス研修旅行は本会単独ではなく、中井町身体障がい者福祉協会さんにも参加していただきています。また、会員同士の交流会も毎年実施しており、昨年は大井町農業体験施設「四季の里」にて、おぼろ豆腐作り体験を行いました。大豆から作つたできだての豆腐は大豆の風味が強く甘みも

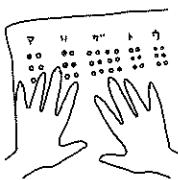
冊子は一〇〇〇部作り、市内小中学校や公民館、図書館などに寄贈するほか、希望者には1冊五〇〇円で販売します。お問い合わせは金目公民館(○四六三・五八・〇一〇)へ。

す。

視覚障害者教育の先駆者である秋山博の功績の向上への取組としては、町の障害者計画作成時にヒアリングが行われ、計画案に対しても修正なども求めました。今後は更に、私たちが暮らしやすく、自立や社会参加できるよう、行政に対しても要望活動なども積極的に行っていきたいと考えております。

秋山は同市岡崎の生まれで、13歳の時に天然痘にかかるて失明。江ノ島方面で、三崎港を散策し、昼食はマグロ料理、お土産もうらりマルシェでマグロを購入しました。このバス研修旅行は本会単独ではなく、中井町身体障がい者福祉協会さんにも参加していただきています。また、会員同士の交流会も毎年実施しており、昨年は大井町農業体験施設「四季の里」にて、おぼろ豆腐作り体験を行いました。大豆から作つたできだての豆腐は大豆の風味が強く甘みも

冊子は一〇〇〇部作り、市内小中学校や公民館、図書館などに寄贈するほか、希望者には1冊五〇〇円で販売します。お問い合わせは金目公民館(○四六三・五八・〇一〇)へ。



私とスポーツ

相模原市
押本
翔希

私は、先天性の障がいがあり、幼い頃から移動する際は車イスを利用しています。障がいはありませんが、昔から皆と一緒に体を動かす事が大好きで、学校の体育の授業では色々な配慮をしてもらいました。

高校の時に、体育の先生からボッチャを教えてもらい、車イスでも充分楽しめるスポーツの存在を知り、現在まで続けています。4年前に以前よりお世話になつていた方から、陸上競技へのお誘いを受け、スラロームとビーンバックという競技も

挑戦する事にしました。スラロームは電動車イスでポールを倒さぬ様に前進、後進、回転等してタイムを競います。ビーンバックは豆の入った布袋の投てきで距離を競います。試合に向けて練習をしていく中で、自己の記録を更新できた時は、嬉しい

今年はSAGA2024大会に、スラロームとビーンバックで選出して頂きました。初めての全国大会で緊張しましたが、スタッフの方達や色々な方に応援してもらったおかげで、ビーンバックで銀メダルを取る事ができ、本当に嬉しかつたです。

【全国障害者スポーツ大会練習会日程】

神奈川県選手団

日程：8月3日（日）、31日（日）、
10月5日（日）

会場：アサンテスポーツパーク
(神奈川県立スポーツセンター)

相模原市選手団

日程：8月3日（日）、31日（日）、
9月7日（日）、14日（日）、
20日（土）、21日（日）、
10月5日（日）、11日（土）

会場：相模原ギオンフィールド、けやき体育館
さがみはらグリーンプール 他

編集室から

皆さんも「存じ」と思いますが、今年11月に東京2025デフリンピックが開催されます。

このデフリンピックを日本で開催することで、日本中にきこえない・きこえにくい人たちや手話言語、情報アセシビリティとコミュニケーションの重要性についての理解が広まり、誰もが取り残されない社会の実現につながることが期待されます。

そのためには、多くの人々に実際にデフリンピックを観に来てもらうことが必要ですので、いろいろなイベントを行つて、デフリンピックについて関心を持つてもらう取り組みを進めています。

皆さんも、デフリンピックについて周囲にPRしていただきたいと思います。

デフリンピックについて詳しいことは左のページをご覗ください。

<https://deaflympics2025-games.jp/>



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受け発行しています。

編集委員 河原 雅浩
(聴覚部)